

日時：平成28年7月20日（水）14:00～15:30

場所：大阪商工会議所 502号会議室

出席委員：溝畑会長、相原委員、近藤委員、橋爪委員、山本委員

オブザーバー：関西経済連合会、関西経済同友会、大阪商工会議所

〔開会〕

〔各部会における審議状況の報告〕

■溝畑会長【観光・都市魅力部会 部会長】

○委員からは共通して、2020年に向けて世界における大阪の立ち位置をどうしたいのか明確化すべきであり、それに対する指標を設定し効果測定が必要という指摘があった。

○委員別では、嘉名委員から、①観光の基盤産業化の推進 ②府域および関西への取組みの展開 ③水と光のまちづくり推進会議の体制強化。栗本委員から、①コミュニティツーリズムの進化・発展 ②大阪のストーリー性の強化。澤田委員から、①大阪城周辺の活性化。勝見委員から、①地下街を活用したフェスティバルや国際舞台芸術フェスティバルの開催 ②プロモーションの強化 ③観光施策にかかる体制整備(ワンストップ窓口等)。私から、①中長期的な視点にたった魅力向上への取組推進 ②客観的な効果測定の実施 ③MICE誘致の推進 などについて説明。

○都市像と施策の方向性およびKPIについては資料のとおり。事務局案に対し、委員からは①世界第一級の文化・観光拠点として大阪城を活用すべき ②世界の基準を考慮し観光客の受入環境の充実を図るべき ③観光の生産性・収益性を踏まえMICE等戦略的に取組むべき ④府内はもちろん関西各地と連携し、消費と滞在日数を増やしていくべき といった意見があった。

■相原委員【スポーツ部会 部会長】

○スポーツ部会では、2つの都市像に整理し議論。「アジアをリードする国際・プロスポーツ都市」では、今後開催される国際的な大会を見据えた取組みや新たな競技大会の誘致、大阪のスポーツブランド力を活かした魅力発信などを想定し整理。「健康と生きがいを創出するスポーツに親しめる都市」では、生涯スポーツ振興の重要性の指摘等を踏まえた整理としている。

○KPIについては、主たる指標に「大阪マラソンの外国人参加エントリー数」と「運動やスポーツをすることが好きな小学5年生の割合」を設定し、PDCAを回していきたいと考えている。

■近藤委員【国際化戦略部会 部会長】

○国際化は広く施策に関わるキーワードだが、部会では2つの都市像に整理。「世界で活躍できるグロー

「バル人材育成都市」は、日本人か否かに関わらず世界で活躍する人材を大阪で育て、将来的に大阪の活力となることが目標。「出会いが活力を生む多様性都市」では、多岐にわたる分野の根底に「多様性」というキーワードがあると考え、都市像名に反映し、大阪らしい多様性の考え方を発信したいという視点で整理。

OKPIについては、現時点では「府内の教育機関に在籍する外国人留学生数」と「在留外国人労働者数」をそれぞれ主たる指標として考えているところ。議論しきれていない部分があるので、途中経過ということでお願いしたい。

■橋爪委員【文化振興会議 会長】（委員報告資料 報告1）

○現在、大阪府市文化振興会議で、改定時期を迎えている府・市それぞれの文化振興計画にかかる検討を進めているところ。文化振興と都市魅力向上の視点で重複するものもあるため、戦略に位置づけるべき文化の取組みに関して意見させていただく。

○次期文化振興計画では、民間の力を最大限に活かし、府民やアーティスト等の自主性、創造性が発揮される「文化自由都市、大阪」という概念を先行計画から継承。「大阪が誇る文化力を活用した魅力あふれる都市」「あらゆる人々が文化を享受できる都市」「あらゆる人々が文化を通じていきいきと活動できる都市」の3本柱として理念を整理。このうち、都市魅力戦略に関わる前2つについて、目指すべき都市像に設定。

○OKPIについては、実態調査が困難であることから意識調査が中心。既存のデータとの継続性を考慮し、「府内外から人々が集まり、芸術活動が活発になっていると思う府民の割合」および「文化的環境が整備されていると思う府民の割合」を主たる指標として考えている。

〔報告に関する自由発言〕

■相原委員

○例えばオリンピック・パラリンピックなど、部会を跨いで議論いただいた項目もあるが、内容ごとに主たる部会で受けるべきと考える。

■近藤委員

○OKPIの目標数値で、大阪としての独自性をどう表現するかは議論していくべき。例えば国際化戦略部会が掲げる留学生数であれば、生産性の高さや地域への貢献といった「質」の視点も含めたKPIとして設定できないのか引き続き検討したい。

■橋爪委員

○戦略には大阪府市が主体となる取組みを書くのか、民間が主体となる取組みも書くのか。行政が経済界を巻き込んでいくのか、逆に行政計画としてとどめるような書きぶりとするのかは議論すべき。

■溝畑会長

○2020 年を見据えた方向性の中で、優先項目の仕分けの考え方は会議で議論したい。先ほど相原委員から指摘があった部会を跨ぐ内容については、多角的な議論を踏まえ整理したい。

■山本委員（委員報告資料 報告2）

○観光・都市魅力部会で国際フェスティバルの開催について提案があったので、事例紹介として山本能楽堂の取組みを報告。

○能楽堂が参加したシビウ国際演劇フェスティバル（ルーマニア）は、ヨーロッパ三大演劇フェスティバルの一つ。10 日間の開催期間中 472 のプログラムが行われ、人口 17 万人の街に 70 万人が訪問。2008 年度の事業規模は約 10 億円で、そのうち 35%が公的補助、30%が国際的なプロジェクトからの支援、10%がチケット収入、25%がスポンサー協賛。運営にあたっては、世界中からボランティアが集まりサポート。飲食店の出店もあり、飲食と芸術・芸能と観光の 3 つがうまくマッチングされたイベント。

○能楽堂の事業が、東京オリンピック・パラリンピックに向けたムードを醸成する事業の 1 つに採択された。引き続き大阪の文化の発信に取組んでいく。

■橋爪委員

○特定の民間の取組みに対して公共が手厚くサポートする仕組みは、日本では公平性の観点から難しい場合もある。ただ都市魅力向上のうえからは、その種の施策が大事である。

〔戦略素案について〕

○資料 1・2により、事務局から説明

〔戦略素案に対する自由発言〕

■相原委員

○KPI で具体的な数値を出していくにあたり、様々なデータを踏まえ部会で検討したい。

■近藤委員

○目指すべき都市像の実現に向け、外国人の意識調査なども取り込むことにより、充実した施策を打ち出し、また適切な効果測定が行えるよう KPI の設定を工夫したい。

■橋爪委員

○一つは今後の重点取組を明確化すること。二つ目は、言葉の使い方・定義の共有化。例えば「三大スポーツイベント」はあくまでもこの戦略におけるもの。新たな戦略での取組みをどう発信していくのか、アウトプットをイメージしながら民間も含め検討すべき。

■山本委員

○伝統芸能を継承しても、それを対外的に発信できる人材が不足しており、深い理解に繋がり難い。留学生の受入拡大の指摘があったが、相互理解を深める一助となるためにも、例えば留学生を対象にした文化交流のシステムが構築できれば良い。

■溝畑会長

○国際的な視点を持ち、都市としての競争力を高めること。目標を明確化させること。経済性・生産性・収益性を高めること。この3つが大きなテーマ。また、住民の視点に立ち、日常的な部分の魅力向上を重視し取り組むことで、まち全体の魅力向上に繋がる。

○委員からの意見を踏まえ素案をブラッシュアップし、KPI および重点取組について部会で審議することとする。

■関西経済連合会（オブザーバー）

○大阪・関西はプロスポーツチームや企業スポーツなどが多いので、それらの連携・活用が可能。例えば都市のプロモーションなど、プロスポーツと連携し戦略的に取組むことについても検討いただきたい。

○いわゆる三大スポーツイベントだけでなく、プロスポーツとの恒常的な連携を重視いただきたい。企業としても、プロスポーツが活性化すればチームを活用したPRの幅も広がる。

■溝畑会長

○大阪観光局でもプロチームと連携し、共同でプロモーションを実施。相原委員からも、プロだけでなくアマチュアを含めた取組についても指摘があったので今後整理したい。

■関西経済同友会（オブザーバー）

○「文化自由都市、大阪」という将来像のもと、3つの理念があるという整理は分かりやすいが、現実の予算規模から考えると事業実施が困難な印象。今後の文化への取組みの進捗について注視していきたい。

■大阪商工会議所（オブザーバー）

○夜型コンテンツへのニーズが高い一方、供給が少ないという意見がある。大阪商工会議所も大阪ナイトカルチャー事業を実施しており、これまでのノウハウを活用しながら、戦略で示される方針に沿った今後の事業展開が必要と考える。

〔今後のスケジュールについて〕

○次回は8月12日（金）に開催予定である旨、事務局から口頭で説明

■岡本大阪府府民文化部長

○これまで様々なご議論を賜り、感謝。今後、重点取組や数値目標を整理していく上で、引続き議論をお願いしたい。

○政府が訪日外国人旅行者数について、2020年までに4,000万人と目標を設定。大阪として目標数値を掲げるにあたり、何を重点的に取組むのかを検討しなければならない。インバウンドの増加が背景にある一方、宿泊者数の6割以上を占める国内旅行者等への視点も重要。国内外を問わない都市魅力向上に取組むことが、都市間競争力の強化に繋がる。

○戦略において、どう大阪の独自性や他都市との差別化を打ち出すのか。こうした点も踏まえ、8月中の戦略案のとりまとめに向けて、今後もよろしく願います。

〔閉会〕